

【山崎名誉主宰の俳句】

葉ざくら

山崎 聰

死もすこし見え大雪の朝の景
明石町葉ざくらの路地からこども
葉ざくらの川沿いのみち異人館
さくら吹雪のうしろ青空こどもたち
キエフは遠し葉ざくらの道なお遠し
ちちよははよ葉ざくらの街過ぎるとき
何するということもなくみどりの日
遠く近く亡きもののこえ若葉雨
新緑が遠くにありてふつうの日
山峡に住んで十年ほととぎす